



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 266
May
2015

トピックス

関係機関との防災協力推進

SATREPSチリプロジェクト（津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究）

ADRCスタッフ紹介 No. 46

上田一仁 研究員

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2015

●関係機関との防災協力推進

SATREPSチリプロジェクト（津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究）

アジア防災センター（ADRC）は、2013年からSATREPSチリプロジェクト（津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究）において研究機関のひとつとして参画しています。今回は、2010年に発生したチリ地震により、死者800人以上と甚大な被害を受けたタルカワノ市を訪問しました。

今回の活動は、タルカワノ市の住民の方々を対象としたDisaster Imagination Game (DIG) の実施と、津波防災意識の調査を目的としました。

本活動においては、現地のタルカワノ市役所が主として運営を担当しました。期間中は約100名住民が活動に参加し、タルカワノ市役所が用意した津波浸水域などの地図などの情報を元に、住民、行政、専門家が協議を行い、実際の津波災害時を想定し、より良い防災および減災のために、活発な意見交換が行われました。

チリにおいては将来的にも大規模な地震及び津波発生が危惧されています。大規模な津波被害を経験したタルカワノ市の活発な防災活動を優良事例として、同国内で本活動が展開されることが期待されます。



市役所担当者からDIGの説明を受ける住民の方々

●ADRCスタッフ紹介 No. 46

上田 一仁 研究員

初めまして、私は上田一仁と申します。55歳になります。2015年4月に、森脇研究員の後任として、兵庫県庁から派遣されてまいりました。

1993年に経験者採用で兵庫県庁に入庁し、県職員としてすでに20有余年、産業政策を皮切りに、農政環境、健康福祉、県民生活等々と多くの分野でさまざまな職務を担当して参りました。その中で、災害とい

えば、阪神・淡路大震災直後に関係の商工団体の被災現場を訪ねて回ったこと、2004年の台風18号、23号水害において被災市町の災害廃棄物処理に携わったこと、2009年台風9号水害での被災市町に対する復興支援で、それらはいまも忘れられない経験です。けれど、そうした経験から身に付けた知識や技能はおおよそ防災とは縁遠いもので、このたびの職務を遂行するに当たり、はなはだ心もとないというのが現在の心境です。



続き

私もかつて青年海外協力隊に参加しましたが、そこで学んだことは、どんなことも、何処（いずこ）も「やればわかる」「行けばわかる」ということです。

私は確かに防災について素人ですが、このたびいただいたこの職務をとおして、広く住民の皆様に関連のサービスをできるように、防災に関する知識と技能を身につけたいと思います。

ADRCでは、主として去る3月に採択された国連防災会議・仙台防災枠組に関する推進事業やJICA研修に携わることになりますが、センターの一員として、防災における国際協力という使命に貢献できる機会を与えていただいたことを大変光栄に感じる次第です。

今後皆様方の温かいご支援・ご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。